



さばえSDGs部 部長

かねこ ひ な み  
**金子 日菜実** さん

仁愛大学2年。マイブームはフィルムカメラで景色などを撮影すること。お気に入りのは平成のポップス。大学では学内イベントの企画や運営をする「学友会」にも所属し、活躍の幅を広げている。

## 大好きな鯖江、私たちが面白く

持続可能な未来に向け、若者の感性を生かして活動する「さばえSDGs部」の部長を務める金子日菜実さん。「学びながら実践的な活動ができるのが部の魅力。学校も学年も違うメンバーと大好きな鯖江を面白くしたい」。その声は明るく、力強い。

元々は極度の人見知りだった。人前で話そうとすると顔が赤くなり、声が小さくなってしまふ。「クラス内での発表も苦手で、当てられないように顔を背けていたくらいです」

転機が訪れたのは高校3年だった2021年夏。自分を変えたいと「高校生版 鯖江市地域活性化プランコンテスト」に参加したことだった。県内から集まった高校生たちがグループを組み、鯖江を面白くするアイデアを自由に考えて発表し合う。「市長をやりませんか？」のキャッチコピーで知られるコンテストの高校生版だ。

自身のチームは若者世代の活躍を促すプランを考えた。しかも、それを人気お笑いコンビに扮して漫才で発表する。発表前は緊張で震えたが、「中途半端にやったら面白くない」と自分を捨てた。他校の3年生を「相方」に、聞きかじりの関西弁で繰り出すボケとツッコミ。真剣にやればやるほど観客は沸き、やがて会場中を笑い声が包んだ。発表が終わると、恥ずかしがり屋だった自分はどこかへ消えていた。「大きな山を越えた。ちょっとやそっとの

ことじゃもう動じない」

大学進学直後の昨春に発足した「さばえSDGs部」にすぐに申し込み、部長に立候補。小学生を含めた第1期のメンバー15人を引っ張り、SDGsの大切さを若い世代に伝えるための紙芝居などを作った。

部員が38人に増えた今年は、秋の一大イベント「SDGsフェス」を盛り上げるため、使い古した傘で会場を彩る企画や眼鏡の端材を生かしたアクセサリづくりなどを進めている。

「自分にはない発想や着眼点を得られるのもSDGs部ならではの活動で鯖江の魅力を広められたらうれしい」。自身を育み、自らを変えるきっかけをくれたふるさとへの親しみと情熱を胸に、19歳の挑戦はこれからも続く。



さばえSDGs部第2期のメンバー（5月撮影）

## 新連載スタート！！

全国でも珍しい「市民主役」を掲げる鯖江市。この街で暮らしている「主役」の皆さんの応援歌を書きたい！そんな思いからこの新連載を始めます。このコーナーで、あなたの鯖江愛がちょっとだけアップするかも。

それぞれの分野で活躍している人、地道な取り組みを続けている努力家、好きなこと・得意なことに熱中している「ミニ博士」、わが町や学校のルーキーなどなど。キラリと光るあなたやあの人を毎月紹介していきます。自薦・他薦などは問いませんので、情報をお寄せください。編集担当職員が取材に行きます。（※日程などの都合で取材に行けない場合もあります）

秘書広聴課 ☎ 53-2203 ✉ SC-HishoKocho@city.sabae.lg.jp

